

2017年4月22日(土)

講演会に先立って午後1時より
「戦場ぬ童」(26分間)を上映。
入場無料



1985年教育映画祭優秀賞
第28回ライプニヒ国際記録短編映画国際ジャーナリスト連盟賞
第3回日本映画復興奨励賞
日本ペンクラブ推薦

17フィート運動推薦
沖縄戦記録映画

戦場ぬ童
いくきはわらび

< 講演会 >

●午後2時～4時

講師 比嘉正詔
(沖縄平和祈念堂前所長)

●参加費 一般 1000円
学生 500円

< 交流会&沖縄の歌と三線 >

午後4時～7時

歌と三線 佐野明子

南風三線教室講師 八重山古典安室流教師

『島人の宝』、『涙そうそう』、『ていんさぐぬ花』、『さとうきび畑』他

参加費 2500円
沖縄料理&飲物付き
(要ご予約)



◆講師 比嘉正詔 (ひが・せいしょう)
1943年、那覇市生まれ。68年大学卒業後、南方同胞援護会、沖縄振興開発金融公庫を経て、99年から財団法人沖縄協会・沖縄平和祈念堂管理事務所勤務。2004年2月同事務所所長に就任、この3月末で所長退任

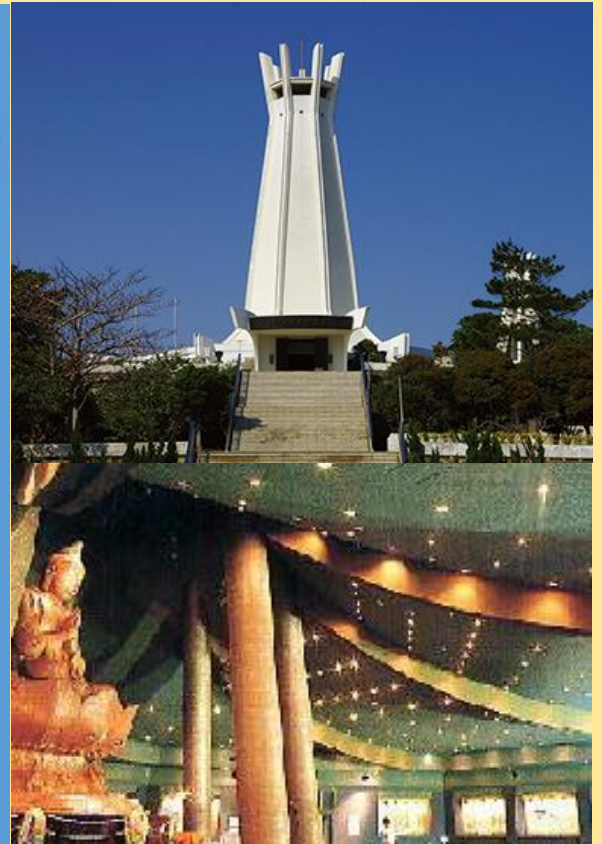


戦後七十一年、戦争を風化させないためにも、平和について
考え、語りついで行きませんか？

みるくゆ
弥勒世(平和な世の中)を創るために！



祈念堂内、清ら蝶園



< 沖縄平和祈念堂とは？ >

第二次世界大戦で最後の激戦場と化した沖縄は、老幼婦女子を巻き込み、軍民あわせて20余万にのぼる尊い人命を失いました。悲惨な戦争は二度と繰り返すまじー沖縄県民のこの悲痛な願いを結集して、沖縄平和祈念堂は昭和53年10月1日開堂しました。

戦争の無益さ、平和の尊さ。その証しの地 摩文仁の丘にそびえたつ祈念堂。正七面体角錐型の堂宇は、七つの海と合掌の形を表わし、人種や国家、思想や宗教のすべてを超越して、世界に平和を訴える壮大なモニュメントです。安置されている沖縄平和祈念像は、沖縄出身の山田真山画伯(1885～1977)が、全戦没者の追悼と世界平和を希う沖縄県民の心を一身に担い、晩年の全生涯を捧げて制作したものです。高さが約12メートル、幅が約8メートルの人間の祈りの姿を象徴した座像です。

現在、沖縄平和祈念堂像の胎内には平和の礎の刻銘者の名簿 241,336人が納められています

◆主催 埼玉・沖縄文化交流会

◆会場 カフェギャラリー南風 埼玉県さいたま市中央区本町西2-2-24

◆お問合せ 048-764-8850 090-4600-1027 (山田) chizuko0913@aol.com

